



SHOWKO

ARTIST



SHOWKO

ショウコ

陶芸家 / アーティスト / SIONE 主宰

京都出身。330年続く、京都の茶陶の窯元に生まれる。佐賀での修行の後、2005年より自身の工房「Spring Show Studio」にて独特の技法での陶板画制作をはじめ。その後、デザイナーとして平面の構成・グラフィックデザインに携わり、他業種の経験をもとにプロダクトの可能性を探求。

2009年10月自身のスタジオを法人化、同年ブランド「SIONE（シオネ）」を立ち上げる。全国で多数の企画展を開催し、2011年より海外で本格的に展開。

2016年に、銀閣寺の旅館をリノベーションし、工房とカフェを併設したショップをスタート。同年、LEXUS NEW TAKUMI PROJECT の京都代表に選出され、プロジェクトに参加。

その後、河原尚子より名義を SHOWKO に変更し、本格的にアートワークの制作に力を入れ始める。2019年京都に新しくできたアートホテルの2部屋を制作し、時を楽しむ部屋として陶板画作品と割れた物を金継ぎした作品を展示する。

他にプロダクトデザイン、ブランディングや茶会などを通じて、現代に添ったもてなしの文化を創造している。

Exhibition

- 京都高島屋 2006年 2009年 他
 - 新宿伊勢丹 美術画廊 2011年 他
 - 銀座三越 美術 2011年 2013年
 - 高松三越 美術画廊 2013年
 - 京都伊勢丹 20周年祭「こころい」 2017年 2018年
 - ミラノサローネ 2011年より 3年連続出展
 - パリ 日仏会館 2014年
 - 中国 // 重慶 2014年 2015年
 - 中国 // 上海 2016年
 - 中国 // 杭州 2016年
 - 台湾 2015年 2016年
 - バンコク 2019年
- など他多数

Media / 雑誌

- FIGARO 2014年 2月号
 - PHP スペシャル 2014年 1月号より
半年連載
 - BRUTUS 2013年 5月号 歩こう
 - PEN 2012年 愛する地元特集
 - TURNS vol.7 2014年冬
 - VOGUE japan 2014年 6月号
 - 装苑 2014年 3月号
 - &premium 3号、mook、他特集ページ
 - Enjoy KYOTO
 - きもの SALON 2019年春夏号
 - 家庭画報 2019年 11月号
 - TRAVERLER (台湾)
 - 京都新聞
 - 日経MJ
- 他多数

Media / TV

- 極上の京都 - 京都放送
- アシタノカタチ - 関西テレビ
- 京都 美しい生き方 - Wacoal プレゼンツ
- LIFE 夢のかたち - 朝日放送
- セブンルール - 関西テレビ (全国放送) 他
- 羽田土曜会 - BS テレビ東京

SHOWKO ARTWORK

ヤキモノは、私たちの年齢よりも遥か遠く未来まで届く
「手紙」のような存在だと考えています。

何度も塗り、焼き重ねることによって、立体感を増す陶板画、
古典文様と現代文様を組み合わせて制作した器。

直線と曲線、古典と現代、夜と朝。
古代から未来へ、脈々と継がれて行く、
儂く美しい「生命の讃歌」を活動を通して表現しています。



1. mirage
2. mirage (部分)
3. トキノアイダ
4. mirage-reborn
5. 夢の精



1



4



2



3



5

1. 更紗草花ストライプ紋 茶碗
2. 更紗草花ストライプ紋 茶碗 (部分)
3. spontaneous
4. 氷梅ストライプ紋 WAN
5. ダリア ステンドグラスランプ
(沢田いくみさんコラボレーション)
6. 亀と蝶の聖杯



6



1. 寿の皿 - 梅
2. 寿の皿 - 松竹梅鶴亀
3. 吉祥ストライプWAN
4. 花吹雪 急須 茶杯
5. hino-tori
6. re born





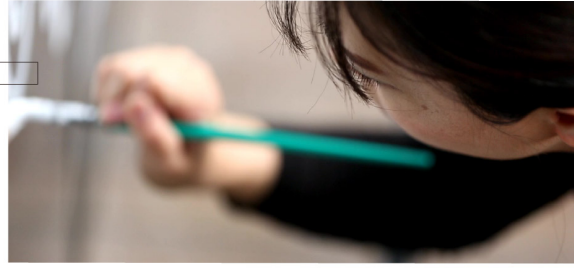
銀座三越
2011年

銀座三越ギャラリーにて、陶板画と SIONE の作品展示販売。日本橋三越の画廊にて、自身の父である宮川香齋の展示を同時開催した。



新宿伊勢丹個展
2011年

新宿伊勢丹アートギャラリーにて、SIONE と SHOWKO の新作を展示販売。SIONE はものがたりを読み進められるしつらえにて展示し、ウインドウなどの装飾、器の中の料理をイメージした花の装飾も華道家とコラボレーションによって制作した。



重慶 HOUSE OF HEDDY
2014年

重慶にある HOUSE OF HEDDY（インテリア
ライフスタイルショップ）にて、展示販売、
茶会、壁面アートのドロ잉ライブを開催。



台湾展示ワークショップ
2016年

「空想京都」という京都と台湾のクリエイターをつ
なげる展示会に参画し、台湾茶のメーカーであり
喫茶を構える「pinchajiii 品茶集」にて展示とワー
クショップを開催。他、台湾のデザイナーデュオ
である「KIMU design studio」などとコラボレー
ションのランプ、スケートボードを制作した。



京都伊勢丹 20 周年記念プロジェクト「こころい」
ジェイアール京都伊勢丹
2017 年

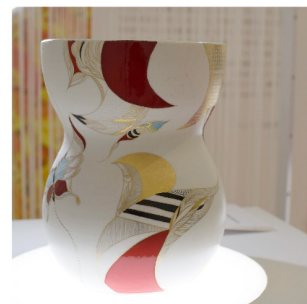
ジェイアール京都伊勢丹 10 周年記念イベントとして開催。京都で活躍する書家、染織家、写真家、御菓子家と名前をつらね、陶芸家として参加。分野を跨いだコラボレーションや、トークイベント、茶会を開催した。

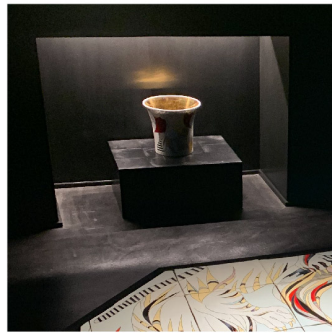




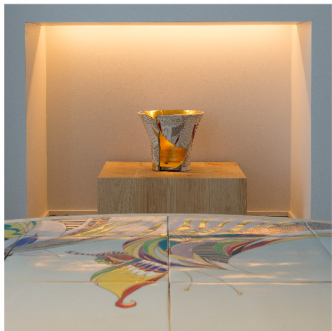
「こころい」あいのおと あいのことのは あいのうつわ展
 ジェイアール京都伊勢丹
 2018年

こころい第一回に続き、ジェイアール京都伊勢丹にて和歌の作家、笙の演奏家と共に、和歌を題材にした作品を制作、展示した。和歌の見せ方として映像を用いて、新しい物語と音と器の出会いを表現。それぞれの作家の薦めたい商品なども展示販売した。





BnA Alter Museum 「2019年」
2019年



BnA Alter Museum 「3019年」
2019年

京都四条河原町下がるにオープンした、BnA Alter Museumというアートホテルの2部屋を担当。2019と3019という名前前で、《現在》と《1000年後の未来》をイメージした部屋をフロアを跨いだ同じ場所に制作した。陶板画の作品、壺を割り再度金継ぎにて継ぎ直したコンセプチュアルな作品を制作した。



S I N E

SIONE は SHOWKO が物語を執筆し、それにあわせて絵柄を展開して、読み進められる器としてプロデュースしている。

物語は「未来の惑星創世記」や、日本の草花自然からの文様をモチーフとしており、食やお茶を共にする喜びの中に、生きるという根源的な問いかけを静かに語りかけるような、余白のあるブランドでありたいと思っている。

器の素地は、SHOWKO の修行先の産地である有田の工房、職人たちと協働して制作、絵つけを京都で施し、両方の産地の特性が組み合わせられた、新しい made in Japan としてブランディングしている。





<https://www.showko.jp>

<https://www.sione.jp>